

《 議会事務局 令和4年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

事務局長 河合 裕明

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

議会事務局は、議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供し、議員の議会活動を補佐することを使命として、草津市議会基本条例に示された「市民に開かれた議会」「政策の立案や提言を行う議会」「行政の監視および評価を行う議会」の3つを柱として、機能充実が図れるように努めます。

- ◆本会議のインターネット中継や草津市HPの公開、議会だよりの発行等、積極的な情報提供を通じて「市民に開かれた議会」の実現に努めます。
- ◆議会としての政策形成や審査機能の向上を図るため、これまでの取組の経過をふまえた議会改革の推進に努めます。

【重点事項】

- ◆議会報告会の実施をはじめとして、議会改革を通じた議会の充実強化に努めます。
- ◆本会議や委員会の運営をはじめとする議会運営のサポート体制の充実に努めます。
- ◆議会の情報発信の充実に努めて、市民の議会への関心向上を図ります。
- ◆ICT活用により、議会活動の効率化を図ります。

【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

【見 積】令和4年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和4年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	248,534	248,534	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット中継の実施、議会だよりの充実など、「市民に開かれた議会」の実現に向けた取組を進めます。 ・委員会活動の活性化を図るとともに、必要に応じて先進事例の調査研究を実施します。 ・「政策の立案や提言を行う議会」、「適正な行政監視および評価を行う議会」など、議会基本条例に定める議会の役割を果たすため、議会活動の効率化を図る手段の一つとして、タブレット端末やクラウド文書共有システムの更なる利活用を進め、議会ICT化による議会活動の効率化を図ります。
合 計	248,534	248,534	

【前年度】令和3年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	252,097	252,097	
合 計	252,097	252,097	

【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
議事庶務課	▲ 3,563	▲ 3,563	【主な増額理由】 ・議場および委員会室等マイク設備、タブレット修理等の修繕にかかる費用増額 【主な減額理由】 ・議員期末手当率の変更による減額 R3: 330/100→R4: 325/100 ・議員共済費負担率の変更による減額 R3: 36.6%→R4: 32.2% ・3特別委員会廃止による行政視察等にかかる普通旅費減額 ・会計年度任用職員報酬、期末手当支給月数等の変更による減額 R3: 2.55月→R4: 2.4月(議長車ドライバー) R3: 2.55月→R4: 1.56月(1年目行政職) ・議会HPを市HPに組み込むことによるウェブサイト保守料減額
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	▲ 3,563	▲ 3,563	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源		事業概要

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
議事庶務課	15,501	15,501	0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	15,501	15,501	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について